

用語解説

家庭教育手帳

家庭での教育やしつけについて保護者が配慮すべきことを子どもの発達段階に応じてまとめた文部科学省が作成した小冊子。

ペープサート

厚紙に登場人物や小道具などを描き、切り抜いたものに棒を付けて動かして、お話を演じるもの。

団体貸出

図書館が地域や職場の団体やグループ、施設などに図書館資料をまとめて貸出しすること。福岡市では、貸出冊数を1000冊以内、期間を3～6か月とし図書館車等で配本している。

パネルシアター

パネル布地をはったパネル板を舞台にして、Pペーパー（不織布の一種で、表裏両面に絵が描け、パネルに貼り付けることができる）に描いたお話の背景や登場人物の絵を貼り付けたり裏返したりして、お話を演じるもの。

CD図書

国際基準のDAISY（デージー）仕様にて製作されたデジタル録音図書で、再生には専用の機器を必要とする。

音声訳

録音図書を製作するために読むことを「音声訳」と言い、一般的な文芸図書等を読む場合の「朗読」と区別している。

ストーリーテリング

語り手（ストーリーテラー）が物語を覚えて、語り聞かせること。

障がい児施設

心身に障がいのある児童が施設に入所または通所し必要な保護をするとともに、独立生活に必要な知識技能を得るための施設。

図書時間

国語の授業のなかで、図書館等を使い学習した内容に関連した書物を読む時間を小学校では図書時間と呼んでおり、学習内容の定着を図ったり、理解をより深めたりするために実施している。

調べ学習

各教科や総合的な学習の時間等において、課題について調べて解決するために、図書資料や新聞、インターネットを使って情報を収集する学習。

おもちゃ図書館

「障がいのある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まったボランティアの図書館で、公共施設を利用して月2回から4回開かれている。

ロングホームルーム（LHR）

生徒の学校生活への適応や様々な課題への対応・健全な生活態度の育成などのため、毎週50分実施されているホームルーム活動のこと。毎日の朝礼と終礼とは別に行っている。

読書ホームルーム

読書活動の推進や学校図書館の利用促進のため、ロングホームルームのなかで集団読書を実施しており、集団読書用テキスト（学校図書館協議会発行で40冊程度）又は生徒が事前に準備した本を読んでいる（博多工業高校で実施している）。

